

平成27年 1 月 20 日

各 高 齢 者 福 祉 施 設 長 様

兵庫県警察本部交通部交通企画課長
警 視 中村 茂樹

謹啓 厳寒の候、ますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、交通警察活動をはじめ、警察行政各般にわたり、深いご理解と格別のご協力を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

さて、兵庫県内では、新年に入って交通死亡事故が多発しており、1月18日現在、交通事故死者数は11人と前年同期に比べ2人増加、全国ワースト第2位と憂慮すべき状況となっています。

介護士の方が関係する交通死亡事故も発生しており、交通死亡事故が増加する中、訪問・介護で車両を運転する機会が多く、多忙を極める医療・介護関係者の皆様が、悲惨な交通事故の当事者となる事態の増加も懸念されるところです。

昨年1年間の事故統計をみますと、医療・介護に従事されている方が車両を運転し、より過失が大きい第1当事者となった人身事故件数は1,923件で、そのうち、4割以上に当たる851件が、業務中又は通勤中に発生しております。

最近の交通死亡事故では、運転者の脇見などの僅かな不注意により、車両と横断歩行者又は自転車と衝突するケースが目立っており、県警察としましては、横断歩行者妨害等交通事故に直結する交通違反に対する交通指導取締りや交差点付近における保護誘導活動の強化などに取り組んでいるところでありますが、悲惨な交通死亡事故を1件でも減少させるためには、皆様のご協力が不可欠です。

職員・従業員やその御家族の皆様には

- 時間に余裕を持って出発し、脇見などしないで、運転に集中する。
- 道路状況に応じた安全速度を厳守する。
- 特に交差点での安全確認を徹底し、横断中の歩行者がいたら必ず停止する。

等について、意識啓発をよろしくお願いします。

また、高齢者の方が亡くなる交通事故も多く発生しております。皆様方には、施設を利用される高齢者の方々に対し、道路を横断する際の安全確認や明るい服装、夜光反射材の着用などの注意喚起についても、併せて、御協力いただければ幸いです。

末筆ながら、皆様のますますの御発展を祈念申し上げます。

謹言